

# 人生ハンド仏句

第46号

H. 18. 1. 1  
(毎月1日発行)



住職 谷川寛俊

新年明けまして、おめでとう御座います。  
今年もどうぞ宜敷くお願い申し上げます。毎月楽しみにハンド仏句を愛読されている方が居られるお蔭で、それを励みとして頑張っておりますので、こりずにお付き合以下さいませ。  
さて全国の皆さん方の中には、年の初めに「七福神」巡りをされる方がいらっしやいます。

そこで今月号は、お正月にふさわしく縁起の良い七福神について説明させていただきます。

恵比寿、大黒、布袋尊、弁財天、福

禄寿、寿老人、毘沙門天の七人の福

の神様が、海の彼方から宝船に乗り合わせて到来し、人々に幸福をもたらすとの、まさに開運招福を願う信仰です。

恵比寿さまは、釣竿に大きな鯛をかかえておられます通り、本来は大漁の神さま、時とともに商売繁盛の神さまとなりました。

大黒様のお生まれはインド。仏教の守護人でしたが、日本では神話に登場する大国主命と同じように考えられ、親しまれてきました。頭巾に小槌、大きな袋を背負い、米俵に乗るお姿。このお方も福徳円満、商売繁盛の神さまです。

編集・発行  
玉蓮山 真成 寺  
編集部  
TEL・FAX (0765)22-2268  
メールアドレス  
kokorochanthk@ybb.ne.jp  
ホームページアドレス  
<http://www.geocities.jp/sinijoujitoyama108/>

七福神の中で実在したただ一人の方が、布袋尊です。中国は唐の時代の禅僧で、その名は契此(けいし)。額が広くて大きなお腹。見るからに安心を与えるお姿です。

「お金や物を得る満足だけでは真の豊かさではない。心の豊かさを持ちなさい」と布袋尊は教えています。

ただ一人の女性は弁財天です。もとインドの水の神さまでしたが、日本に伝来すると芸能の神様になりました。弁財の財はもとは、才能の才でしたが、いつしか財産の財になり、福の神の仲間入りされたのです。背が低く長い頭の老人は福祿寿。出身は中国です。福運、俸禄、長寿の三徳をもたらす神様として名高いお方です。

長寿の神さまは寿老人。巻物を結んだ杖を持ち、鹿を連れてのお姿で、人々の安全と健康を守って下さると

いう神さまです。

最後は毘沙門。別名・多聞天とも言われるお方。上杉謙信が信仰篤かったと言うくらい、古来から武人に慕われたお方。近頃では、子育ての神さまとして人気を呼んでいます。

宝船に、所狭しと乗り合わせた七人の神さまたち。  
素晴らしい笑顔です。

笑顔はそれだけで施しとなる